

千里の道も一歩から2

令和5年度

東能勢小中学校

進路通信 No.29

2月5日

発行者:松岡



入試直前！注意事項まとめ①

1週間後の2月10日(土)から私立入試です。私立入試に向けてラストスパートをかけていると思います。よい意味での緊張感をもって入試に臨んでください。今回は、入試当日の注意事項をまとめてみました。公立高校を受験するときも同じです。しっかり読んでおきましょう。



① 入試当日はベストな体調で臨めるように、しっかり体調管理をしよう！

入試当日の朝、目が覚めたら「寒気がする」「熱っぽい」となると、通常通りの受験ができません。まずは日ごろから早めに寝て、早く起き、朝ご飯を食べるなど、生活リズムを整えましょう。また、最近はやや緩和されてきていますが、油断せず、基本的な感染対策のマスク・手洗い・手指消毒はこまめにしましょう。寒いですが、部屋の換気を定期的に行うことも大切です。入試本番に万全の体調で臨めるように体調管理をしましょう。

② 持ち物チェックは前日のうちに！

入試当日、会場に着いてから「忘れ物」に気がつくと、すごく緊張してしまい、テストに集中できなくなることがあります。持ち物は前日のうちに、ちゃんと揃えてカバンの中に入れておき、朝出発するまでに最終確認を行いましょう。

◇各高校の入試要項や出願後にもらった「入試当日の注意プリント」等で、持ち物の確認をすること。基本的には、[受験票][筆記用具][交通費(おつりがないように)][ティッシュ・ハンカチ][靴袋]が必要となります。弁当、上靴が必要な人もいます。

◇必要であれば、[定規・コンパス][計時機能のみの腕時計]などもあげられます。

持参してはいけない物は、絶対に持って行ってはいけません。

◇「受験票を忘れた」場合は、まず受験校の先生に相談してください。きちんと対応していただけます。(家に取りに帰って、遅れてしまうことがないように！)

◇寒い時期ですから、携帯カイロがあると便利です。入試会場へ入るまでは、手がかじかまないようにカイロで温めておきましょう。また、マスクの着用も忘れないように。

◇入試当日に上靴が必要な場合は、9日(木)の下校時に必ず持って帰ること。

上靴を持って帰った人は、次の登校日に学校へ持って来るのも忘れずに！

③ 服装・身だしなみはきちんと！

当然のことですが、きちんとした服装・身だしなみで入試へ行きましょう。頭髪をきちんと整え、爪もちゃんと切っておきましょう。きちんとした服装・身だしなみとは、面接学習で伝えたように、ネクタイ・リボンをつけ、制服をきちんと着こなしている姿です。(卒業式などの行事の服装と同じです。)

もちろん、その上や中に防寒着を着てください。当日は寒くなるかもしれませんが、試験教室は暖房が入っていると思うので、簡単に脱着できる防寒着にしましょう。ただし、入試中の防寒着は無地のものがよいです。文字が入っていたり、絵が描いてあったりすると脱がなければなりませんので、気をつけましょう。

入試当日は、最寄駅から高校の校門あたりまで、受験校の先生方が立っておられることがあります。また、試験中や休み時間のみなさんのようすを受験校の先生方は見ておられます。

「試験会場へ来る生徒のようすや教室でのようすをしっかりと見て、普段はどのような学校生活を送っているのか。」と考えておられる学校があるかもしれません。だらだらしたり、シャツを出したり…がないよう、試験が終わるまで緊張感をもちましょう。

④ 交通機関、運行ダイヤのチェックは必ず事前に！

1月29日(月)の6時間目に説明されたとおりに、入試当日の行き帰りの時間を調べ、個人保管用と学校への提出用のプリントを完成させました。過去には、「慌てて飛び乗った電車が自分の降りる駅に停まらず入試に遅れた」という事例もありました。入試当日、気持ちに余裕をもつためにも、調べたとおりに行動しましょう。万一、電車・バスなどの公共交通機関が何らかのトラブルで遅れたり停まったりした場合は、《遅延(延着)証明書》を発行してもらえます。(ただし、JR西日本・阪急電鉄などは紙での証明書の発行ではなく、WEBに切り替えています。必要な場合は駅員さんに相談をしましょう)。その場合、試験時間の繰り下げ等の措置を取ってもらえる可能性もあります。

しかし、個人の車で交通事故などの渋滞に巻き込まれた場合には、このような措置は取ってもらえません。できるだけ公共交通機関を利用して高校へ行くようにしてください。今年度も、「新型コロナウイルスやインフルエンザの感染リスクを減らすため、自家用車で送ってもらおう」と考えている受験生が多いように思います。例年以上に交通渋滞する可能性があるため、時間に余裕をもって家を出しましょう。

※保護者の方へ

入試当日、車で試験会場又は最寄り駅までお子さまを送られる場合は十分に注意してください。万一、事故に遭ってしまわれたら「お子さまの気が動転して…」「試験会場に定刻に着けない…」というような最悪のケースも想定されます。よろしくお祈りします。

